

# 為替介入って、なして、しないのさ？

USD/JPY - アメリカドル 日本円 ▲ 154.34 +0.06 (+0.04%)



## 為替介入って、なして、しないのさ？

### 【財務省：外国為替平衡操作の実施状況】

- ・ 2022年9月22日（145円90銭台→140円30銭台） ロンドン時間（東京時間17時頃）
- ・ 2022年10月21日（151円96銭→145円11銭） ニューヨーク時間（東京時間23時頃）
- ・ 2022年10月24日（149円70銭→145円63銭） オセアニア時間（東京時間8時頃）

令和4年	9月	22日	2022 Sep	22	28,382	米ドル売り
令和4年7月～9月期計			July - September 2022		28,382	
令和4年	10月	21日	2022 Oct	21	56,202	米ドル売り
		24日		24	7,296	米ドル売り
令和4年10月～12月期計			October - December 2022		63,499	
令和5年1月～3月期計			January - March 2023		0	
令和5年4月～6月期計			April - June 2023		0	
令和5年7月～9月期計			July - September 2023		0	
令和5年10月～12月期計			October - December 2023		0	

為替介入って、なして、しないのさ？

## 【介入の段取り】（田代の感覚）

- ① 財務官もしくは財務相による口先介入（注視する）
- ② 財務官もしくは財務相による口先介入（かなり急速な動き、最も適切な対応をとる）  
→ **2月28日時点**
- ③ 財務官もしくは財務相による口先介入（投機的な動き、あらゆる措置を排除しない）
- ④ 財務官もしくは財務相による口先介入（断固たる措置をとる用意）
- ⑤ 財務官もしくは財務相による口先介入（スタンバイ） → **今ここ（4月16日16時時点）**
- ⑥ 政府・日銀担当者によるレートチェック
- ⑦ 実弾による為替介入実施（財務大臣の権限で、日本銀行が介入を実施）

# 為替介入って、なして、しないのさ？

「過去のルールに当てはめるとできないが・・・」

## ① 「為替水準」 ○

→2022年に実施した最後の為替介入水準は151円96銭

→2023年11月1日のスタンバイ発言は151円72銭→149円20銭

→2023年11月13日の151円95銭の時は口先介入に留める（海外市場での米CPIが予想下振れで円安一服）

## ② 「スピード感」 ×

→市場では前日比+1.2%の円安ドル高が必要

## ③ 「大義名分」 ○

→円安加速に伴う物価上昇で国民から生活が苦しいとの声

→円安加速に伴う企業業績への懸念

## ④ 「根回しの完了」 ○

→為替が動くことに対する欧米への十分な根回し（日米首脳会談で握っているはず）

## ⑤ 「効果」 ×

→米金利上昇局面での効果は弱い

→中東情勢という不透明要因も浮上

# 為替介入って、なして、しないのさ？

「4月15日、陣頭指揮を執る神田財務官の発言の質が変わった？」

3月25日・・・151円台

「明らかに投機」

「常に準備はできている」

「過度な変動容認は、経済に大きな影響をもたらすものであって容認することはできない」

「行き過ぎた変動に対してはあらゆる手段を排除せずに適切な行動をとる」

4月11日・・・153円台

「必ずしも特定の水準を念頭に置いて判断しているわけではない」

「過度な変動は国民経済に悪影響を与える」

「年初からの動きはかなりの変動幅」

4月15日・・・154円台

「今週のG7 財務相会合ではウクライナ支援、ロシア制裁について協議する可能性が高い」

「為替相場に関して、主要国の財務官、中銀幹部と頻繁に連絡」